

当課では、ICTメディアの健全な利活用に向けて「ICTメディアリテラシー育成プログラム」を開発し公開しています。[http://www.soumu.go.jp/joho\\_tsusin/kyouiku\\_joho-ka/index.html](http://www.soumu.go.jp/joho_tsusin/kyouiku_joho-ka/index.html) このコーナーでは、現在重要な課題となっている情報モラルやリテラシー育成などについて、「最前線」で取り組まれている方々に紹介していただきます。

## I-ROIの役割とその仕組み

有限責任中間法人インターネットコンテンツ審査監視機構 事務局長 前川 巖

### ■I-ROIの生まれた背景

「有限責任中間法人インターネットコンテンツ審査監視機構」【略称：I-ROI】<sup>(\*)</sup>は、学識経験者と有識者により策定されるレイティング基準を用いて、インターネットおよびモバイルサイトの健全性を、自己評価（セルフレイティング）の手法で客観的に認定する第三者機関です。

I-ROIが誕生した背景には、世界でも類を見ないようなペースで進化する、パソコン・インターネット・携帯電話・ゲーム機などが融合した社会の、恩恵（光）と弊害（影）がはっきりと姿をあらわしてきたことにあります。とくに青少年が、インターネット上の有害情報によって犯罪に巻き込まれ、被害者となるケースが深刻な社会問題の一つにまでなっていることにあります。このために早急な検討と解決策が求められたのです。

このような状況を背景に、政府・各種業界・利用者などからの強い要請を考慮し、第三者の立場でインターネットコンテンツやWebサイトの情報を客観的に、公正かつ厳正に審査・監視し、インターネットやモバイルサイトの健全性を認定する機構として2008年5月に設立されました。

### ■iコンプライアンスと「ものさし」

I-ROIは、サイト運営者やコンテンツ提供者（とくにコンテンツの制作者と通信事業者）（以下：提供者と略す）には、コンテンツの健全性を保証するために、既存の規定・細則の遵守のみならず、社会通念、倫理、道徳、文化などを尊重した良識ある判断・言動が求められていることに着目しました。

これらの行為をI-ROIでは、iコンプライアンスと称しています。ちなみに、iはinternetのiであり、

informationのiであり、自らのi (I) であり、愛でもあります。iコンプライアンスを遵守することによって、有害情報を含まないコンテンツのよりいっそうの健全性が維持されると期待しているのです。

そこで、提供者がコンテンツを提供する際を守るべきiコンプライアンスを自ら確認できるよう「健全性維持のための基本方針」を制定し、基本方針に従ってコンテンツの健全性を自己評価する「セルフレイティング基準」を設けています。

この「基本方針」と「基準」は、I-ROIの「ものさし」です。提供者にはこの「ものさし」で、自社のサイトなどを再確認（「セルフレイティング」）していただきたいのです。

まずはI-ROIの「ものさし」と、提供者が持つ規範（＝「提供者のものさし」）を比べていただきます。「提供者のものさし」が、iコンプライアンスの観点からズレが生じていないかの確認作業をしていただくわけです。この段階で、両者の「ものさし」がピッタリ一致することは無いと思います。生じたズレについては、提供者とI-ROIの話し合いで埋めて行くこととなります。提供者側のコンプライアンス遵守の精神・体制がしっかりしていれば、その差を埋めることは可能だと考えています。

よく誤解されますが、I-ROIは提供者のコンテンツを有害か無害かを判断するわけではありません。判断をするのはあくまでも、I-ROIの認定を受ける提供者なのです。I-ROIは、申請してきた提供者が当該サイトの健全性のセルフレイティングを適正に行ったか。また、iコンプライアンスを理解し、維持する制度を確立しているかについての審査を行っていくのです。

### ■年齢別のレイティング

I-ROIでは、青少年の年齢に配慮した、12歳、15歳、18歳の年齢別レイティング区分を設けています。

これは青少年の精神的な発達段階を考慮したと同時に、インターネットで流通しているさまざまなコンテンツのレイティングや条例なども考慮したものです。インターネットは道具なので、既存のレイティングを無視しても意味はありません。また、12歳以上と15歳以上では線引きが難しいのは事実です。

しかし、中学生と高校生とでは精神的な発達によって、行動や活動の範囲、考え方も違ってきます。また、何でもかんでも18歳以上と以下で分けるのではなく、ある程度の情報については自身で自立的に判断していくようにとの考え方で年齢別レイティングを採用しています。

この年齢別レイティングもあくまでも目安であって絶対ではありません。このレイティングを参考にし、各ご家庭や学校で、一人ひとりにとっての適切なインターネットの利用を考えるきっかけにいただければと思っています。

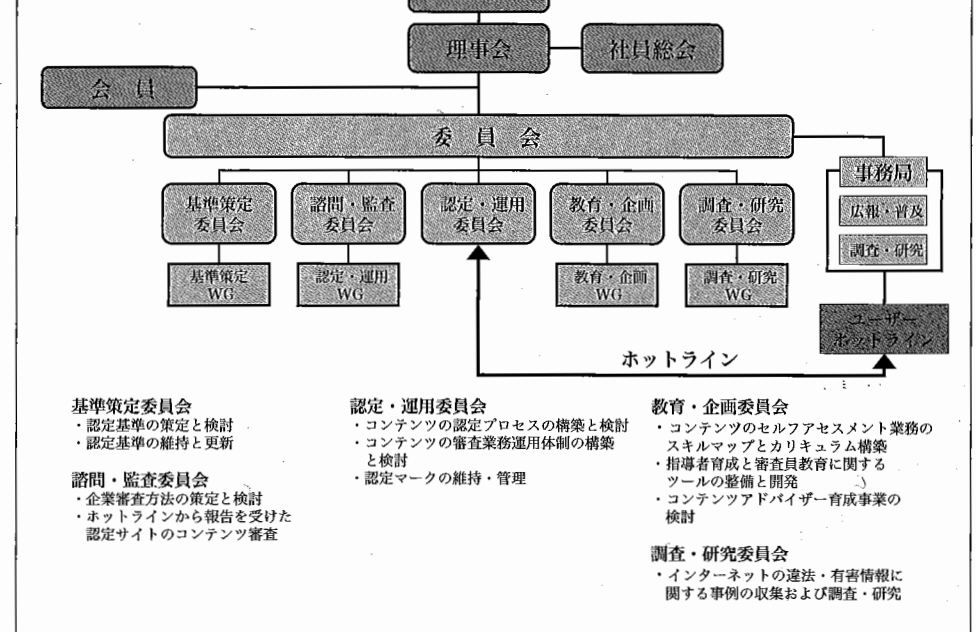
### ■教育啓発活動とI-ROIの願い

I-ROIの活動のもうひとつ大きな柱に、インターネットを安全に安心して利用するための教育啓発活動があります。

青少年およびその指導者（親・教師）に対するインターネットのリテラシーに関する普及啓発活動に努め、モバイルおよびインターネットに関わる諸問題の解決にも積極的に取り組んでいきます。

インターネットについては青少年に比べて、指導者のほうが理解していないことが多いと思われます。たとえば自分の子供がどこのサイトにアクセスし、利用しているのかを把握している親はどのくらいいらっしゃるのでしょうか？ また、学校の裏掲示板、ブログ、投稿サイトなどの利用の実態についてどのくらい

### I-ROIの組織図



知っているのでしょうか？ こうしたことを一からお知らせして、家庭や学校でインターネットへの接し方についてみなさんで学んでいただきたいと思っています。もちろんこの活動は、I-ROI単独では難しいので「安心ネットづくり促進協議会」や地方自治体などと組んで教育啓発活動を展開して行きます。

I-ROIでは、3月現在、セルフレイティングのための研修が実験的に行われています。4月には認定の第一号を出したいと努力しています。

自社サイトには有害情報は無いから、I-ROIとは関係が無いと思っている方がいらっしゃいます。しかし、その提供者がインターネットにおけるiコンプライアンスを他のコンプライアンスと同じように遵守していることを証明するためにI-ROIの会員となり、認定を受けていただくようお願いしています。

インターネットの世界が、これだけで良くなっていくことはないこともわかっています。しかし、I-ROIの提唱するiコンプライアンスを遵守していただくことで、徐々にではありますが青少年が安心して安全にインターネットを利用できる日が来ることを願っています。

\*1 4月より名称は「一般社団法人インターネットコンテンツ審査監視機構」と変更される予定です。